

第1号議案

2021-22 シーズン事業報告

B1 昇格2年目のシーズンは、開幕直前のコロナ感染の蔓延により、シーズン開幕時に合わせた出陣式を昨年に引き続き実施できず、残念なスタートとなったが、チームは新たな戦力となる選手を迎え、好調なスタートをし、年末までの前半は上位をキープしていた。

後半に入った1月には、第5波となるコロナ感染が各チームに広がり、試合の中止や延期となることもあり、最終的にはすべてのゲームを戦うことができなかった。

このような状況の中でもチームは28勝26敗と勝ち越し、西地区5位(11チーム中)の成績でシーズンを終えた。

後援会でも新型コロナウイルスの感染防止ため、昨シーズンに続き、出陣式や新年会などの選手、スタッフと後援会員の親睦を高めるための事業は中止せざるを得なかったことは誠に残念であった。

1. 後援会組織の拡充

(1) 新たな役員委嘱

新たな副会長、顧問、参与等の役職への就任活動を行った。

(2) 会則、組織等の見直し

会則の見直し、諸規定の制定については、慶弔規定等の整備を進め、今総会へ提出をする。

(3) 専門委員会の充実、各支部活動の活発な推進

4つの専門委員会を設置しているが、まだそれぞれの委員会の活動は進められていない。

支部活動では、各支部でのパブリックビューイングの開催を計画したが、新型コロナウイルスの影響もあり、千曲市では1回のみが実施された。

東京支部では2021年10月16、17日に都内在住者によるVSアルバルク戦の観戦、2022年3月19日にはVS名古屋ダイヤモンドドルフィンズ戦のパブリックビューイングが開催された。

(4) 会員拡大(増)への取り組み

会全体で計画的な取り組みはできず、会員や役員に個々による勧誘にとどまってしまった。

2. 信州ブレイブウォリアーズを中心とした地域活動の推進とチーム支援

(1)物心にわたるチーム及び運営会社への支援

財政的な支援については、チケット購入、支援金により助成をしたが、会員の継続、新規加入を積極的に行うことができず、予算額には満たない結果となってしまった。

人的な支援としては、ホームゲーム時のウォーブルによる活動のほか、運営会社が制作したポスターの掲示、協力していただける事業者（社）等への配布を行った。

(2)会員の親睦、チームとの交流を深めるためのイベントの開催

開幕前の出陣式、2月の新年会を計画していたが、新型コロナウイルスの感染防止の状況から中止せざるを得なかった。

シーズン終了後のファイナルパーティー（運営会社主催）への会員の参加を配慮いただいた。

(3)チームの興行及び運営会社の各事業に対する支援活動

通常のホームゲームにおける運営への支援についてはウォーブル（多くの会員が参加）として試合の運営に協力した。

ポスター掲示、配布活動を例年通り実施した。

(4)善光寺除雪活動

地域貢献事業の一つとして善光寺参道の除雪作業を実施した。

3. その他、信州ブレイブウォリアーズ発展のために必要な事業の推進

- (1) マグネット、シールの販売。
- (2) サポートショップのホームページ紹介。
- (3) 「バスケの日」活動推進